

平成28年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成29年 4月 1日

研究・研修課題名	新リンパ浮腫研修への参加
研究・研修組織名（所属）	リハビリテーション部（所属：リハビリテーション部）
研究・研修責任者名（所属）	伊藤 路子（所属：リハビリテーション部）
共同研究・研修者名（所属）	伊藤 路子（所属：リハビリテーション部）

目的及び方法、成果の内容

①目的（800字程度）

リンパ浮腫は、医療者側の知識不足から、適切な治療がなされず放置されることで進行する。浮腫の悪化で家事などの生活に支障が出たり、QOLを低下させる切実な問題がある。平成28年度診療報酬改訂で、リンパ浮腫に対する治療を充実するため、リンパ浮腫に対する複合的治療についての項目が新設されている。リンパ浮腫の治療は複合的に行う必要があるとあり、診療するにあたっては、様々な知識と技術が必要となる。この目的は、作業療法士1名が、財団法人ライフプランニングセンターが主催する平成28年度リンパ浮腫研修会に参加し、リンパ浮腫の診療の従事に必要な専門知識や技術を習得することである。

②方法（800字程度）

作業療法士1名が、財団法人ライフプランニングセンターが主催する、平成28年度新リンパ浮腫研修会に参加し、リンパ浮腫の診療の従事に必要な専門知識や技術を習得する。この研修では、「リンパ浮腫における教育要綱」に沿って、医療専門職に向けてリンパ浮腫の理解と適切な指導のため国際リンパ学会より推奨されている座学（45時間以上）の大部分が習得できる内容である。

開催場所：国立看護大学校（東京都清瀬市）

開催時期：（ステップ1）平成28年9月17日（土）～平成28年9月18日（日）

（ステップ2）平成28年11月19日（土）～平成28年11月20日（日）

（終了テスト）平成28年11月20日（日）

③成果（データ等の図表を入れて2000字程度）

財団法人ライフプランニングセンターが主催する、新リンパ浮腫研修会に参加し、リンパ浮腫の治療を行なうための、専門知識を習得することができた。

9月17日～18日に行われたステップ1研修では、患者の病態を理解し、患者指導ができることを目的としていた。1日目はリンパ浮腫の基礎を学び、その成因を理解し、鑑別ができる知識を得た。

リンパ浮腫の基礎では、解剖学、生理学から学び、成因を理解することができた。また、早期発見、介入時期、治療選択、合併症の診断・治療を行う際の知識やポイントを理解する内容となっていた。

ステップ1 研修2日目は、リンパ浮腫の治療の実際を掌握できることが研修の目的であった。圧迫療法、弾性着衣の装着指導、用手的リンパドレナージ、セルフケア指導・スキンケアなどの実際の治療に関わる際に必要な知識を得ることができた。

11月19日～20日に行われたステップ2研修では、疾患の特徴を理解すること、患者の状態を評価し、適切な患者指導が行えることを目的としていた。1日目はリンパ浮腫と関わる疾患を理解するための内容であり、各科の病態や特徴を把握することができた。

2日目は、患者の状態を理解し、患者指導ができることが目的であり、ケーススタディの中で学ぶことができた。

これらの得た知識をもとに、終了テストをうけて、合格することができた。

この研修に参加し、リンパ浮腫に対する適切な生活指導が行えるようになった。また、緩和期のがん患者の浮腫への対応が可能となった。